真空地帯（1952）

メディア 映画
ジャンル 戦争
製作国 日本
色彩 B&W
時間 129分
初公開日 1952/12/15
公開情報 北星

【解説】
野間宏の実体験に基づく同名小説を、山本薩夫が監督し映画化。軍隊内部に蔓延する暴力、いじめ、理不尽な命令などを描いた、一種の反戦映画と言えよう。原作は毎日出版文化賞を受賞している。
士官の財布を盗んだとして、木谷は陸軍刑務所に二年間服役。出所した木谷は軍の内務班に復帰した。班の内部では班長をはじめ古参兵たちが、初年兵をいじめていた。特に一等兵の會田は大学出ということもあり、日常的に暴力を受けていた。しかし木谷だけはそんないじめには加担していなかった。會田は木谷に好意を寄せ親しくなるが、木谷が野戦送りの人員に選ばれることを知ってしまう。木谷が刑務所へ送られたのも、野戦送りの人員に選ばれたのも、すべては派閥争いによるものだった。

【クレジット】
監督 山本薩夫
製作 嵯峨善兵
岩崎昶
原作 野間宏
脚本 山形雄策
撮影 前田実
音楽 團伊玖磨
出演 木村功
利根はる恵
神田隆
加藤嘉
下元勉
西村晃
岡田英次 Eiji Okada
金子信雄

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.